

情報を
未来の
知恵に



株主通信

第31期 中間報告

第2四半期累計期間

2008年4月1日～2008年9月30日

情報 を 未来 の 知恵 に

株式会社 プロト コーポレーション



代表取締役社長

入川 運三

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1977年の創業以来、「物売る事より、知恵・情報を通じて 人・企業と効果的な結び付きをし 社会に貢献すること」を経営理念として掲げ、継続的かつ安定的な成長・発展を目指しております。また、常に独創性のある事業を行うことにより、結果として魅力ある企業であり続けたいと考えております。

当社が展開する事業は、世の中に溢れている様々な情報の中から、真に必要とされる情報コンテンツをユーザーに提供することで、ユーザーとクライアントのニーズをマッチングさせることが基本となります。変化の早い時代を常に半歩リードする商品・サービスを提供していくため、「挑戦する勇氣行動による証明」の社訓に基づき、現状に満足せず、常にチャレンジ精神を発揮していくことを実践しております。スピード感覚とエネルギーにあふれ、積極果敢に行動に移し、結果を出せる集団であることが、当社の強みと成長の原動力であり、ユーザー視点に立った新しい商品・サービスを、当社はこれからも提供してまいります。

また、ユーザーからの絶対的な支持を獲得していくためには、

社名の由来

Personality (個性) **R**ealize (実現する) **O**riginal (独創的な) **T**otal (総合的な) **O**ffer (提供する)

「個性」を活かした「独創的な」商品を「実現」し、
広く社会に「総合提供」いたします。

従来のGooシリーズをはじめとした「商品ブランド」だけでなく、「企業ブランド」の構築も必要不可欠です。創業から30年を経て、当社は、中期3か年の新たな取り組みとして、「情報を未来の知恵に」というキーワードのもと、『プロト』という企業ブランドの確立に取り組む方針です。ユーザーにとって、「情報が欲しい」ではなく、『プロト』の情報が欲しい・『プロト』の情報が一番いいと言われるような、独創的で絶対的な価値を持つ企業を目指してまいります。企業価値とは、ユーザーのみならず、当社の従業員および株主をはじめとするステークホルダー、そして当社を取り巻く社会からの「信頼」・「期待」・「満足」を表したものだと考えております。そのため、業績の向上に加え、健全で透明性ある経営を行い、企業価値の最大化に積極的に取り組んでまいります。

当社グループの主要顧客である自動車販売業界においては、新車販売台数・中古車登録台数ともに前期実績を下回るなど、外部環境は厳しい状況で推移しておりますが、当社は、今後も収益性・安定性の強化に努め、財務基盤をさらに磐石なものとしてまいります。

プロトコーポレーションは、お客様と共に満足を追求し、100年後も必要とされる企業となるべく、あくなき挑戦と進化を続けてまいります。

2008年11月

企業メッセージ

情報を未来の知恵に

古来、人類は様々な自然現象から情報を集め、明日のことや未来のことを予測し、暮らしに役立ててきました。

いつの時代も、豊かな暮らしを築くために情報は欠かせないものでした。

私たちプロトコーポレーションは、クルマ情報から生活情報まで、膨大な情報から、ひとりひとりに最適な情報を収集・精査し、カスタマイズコンテンツとして皆様にお届けしています。

この考え方は、インターネットの普及に先立つ1977年発刊「中古車通信」から始まり、現在の「Goo-net」、さらに、これからの時代に向けて発展し続けています。

近年のインターネットや携帯電話の普及は、情報をとりまく環境を大きく変化させています。

ブログやSNSによって、ネット上で誰もが情報を発信し、その情報を共有し、様々なコミュニティが溢れています。

自動翻訳システムが進化すれば、もっと世界とつながることができます。

本格的なコビキタス社会になれば、衣食住あらゆるモノがネットでつながり、いつでもどこでも情報を共有できるようになります。

たとえば私たちが扱っている中古車情報に関していえば、欲しい輸入車を欧米で直接見つけたり、

売りたいクルマの状態をクルマ本体から直接発信できる時代がくるかもしれません。

インターネットの可能性はますます広がっています。

それにともない情報のニーズもさらに多様化・細分化していくはずです。

また、情報の共有が進めば進むほど、その信頼性や安全性が問われるでしょう。

だからこそ、私たちは最先端のIT技術だけでなく、ユーザーニーズを的確にとらえる感性を駆使して、

その人が本当に知りたい、信頼できる情報を選び抜き、より充実したカスタマイズコンテンツを提供していきます。

ひとりひとりのユーザーに利益を与え、よりよい暮らしを築く知恵となる。

そんな価値ある情報を皆様にお届けするために、私たちの挑戦は続きます。

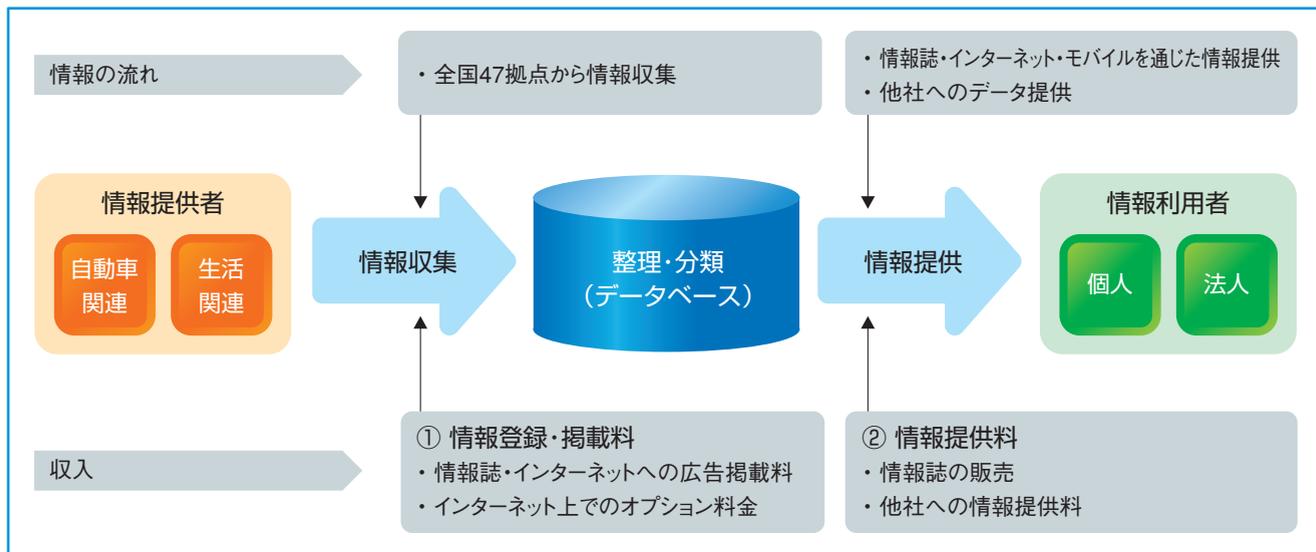
情報を未来の知恵に。プロトコーポレーションです。



表紙の写真：ストーンヘンジ(イギリス)

ストーンヘンジは、紀元前2500年頃に作られたと言われる古代遺跡です。作られた目的は祭祀場、古代の天文台等様々な説がありますが、その建立方法には謎が多く、まさに古代人の「知恵」が集約された遺跡と言えます。そしてこの遺跡の前を楽しそうに駆け回る子供たち。子供たちは「未来」の象徴です。

当社では、このイメージビジュアルを「情報を未来の知恵に」という企業メッセージを表現するものとして採用しています。



当社の代表的なビジネスモデルである消費者・ユーザー向け商品の広告ビジネスについてご説明します。

■ 情報の流れ

当社では、自動車関連情報のクライアントである中古車販売店から中古車物件情報、生活関連情報のクライアントであるスクールからレッスン情報、有料老人ホーム・シニア住宅から物件情報などを広告出稿の形態で収集しています。集められた情報は、整理・分類して、データベース化されています。

なお、当社では自社スタッフが直接収集することにより情報の正確性・信頼性を高めています。データベース化されたコンテンツは情報誌・インターネット・モバイルといったメディアを通じて、ユーザーに提供されています。また、様々な付加サービスも提供し、ユーザーの利便性を高めています。

■ 主な収益モデル

自動車関連情報では、中古車販売店が広告を出稿する際に、広告掲載料(1ページあたりの掲載料金)をいただいています。出稿された情報は、情報誌に加え、インターネットやモバイルサイトにも掲載されます。この他、中古車の見積り仲介や中古車販売店のホームページ制作など、インターネットならではの付加サービスも行っており、クライアントがこれらのサービスを利用する際に、インターネット上でのオプション料金をいただいています。

生活関連情報では、スクールや有料老人ホームなどの運営者が広告を出稿する際に、インターネットサイトならびにモバイルサイトへの情報登録料をいただいています。

自動車関連情報

クルマ・ポータルサイト「Goo-net」をはじめ、情報誌・インターネット・モバイルを通じて消費者の「クルマ選び」「バイク選び」をサポートしています。

また、全国のオート・オークション会場から収集した中古車落札価格情報や、その情報をもとに当社が独自に商品化した中古車基準価格情報を中古車販売店などの法人向けに提供しています。その他、消費者が所有する自動車を中古車販売店が入札方式で競り落とす「Goo-net買取オークション（グーオーク）」も展開するなど、販売面に加え、仕入面でもクライアントの経営をトータルサポートしています。

また、株式会社リペアテックでは、自動車修理業界向けに「月刊ボデーショプレポート」などの情報誌出版をはじめ、事故車見積総合支援ソフト「正宗」などの販売を行っています。



クルマ・ポータルサイト

Goo-net



クルマ情報・Goo!!



クルマ情報誌

Goo

生活関連情報

インターネット・モバイルを通じて、レッスン情報や有料老人ホーム・シニア向け住宅情報などを消費者に提供しています。

「VeeSCHOOL.com」では、資格・スキル・趣味といったカルチャースクールの講座検索や資料請求が簡単にでき、消費者のスクール選びをサポートしています。また、「オアシスナビ」では、全国の有料老人ホームやシニア向け住宅施設の情報検索や資料請求・見学予約ができ、施設探しをサポートしています。

さらに「介護求人ナビ」では、希望の地域・職種・雇用形態や地図情報から介護・医療・福祉の求人情報を検索することができます。

その他に、モバイル広告代理事業も展開しています。



資格・スキル・趣味・学校の
専門サイト

VEESCHOOL.COM
リースクール



有料老人ホーム・シニア住宅
検索サイト

オアシスナビ

その他事業

株式会社マーズフラッグが、見える!検索エンジン「MARS FLAG」、見える!サイト内検索「MARS FINDER」の開発、運営などを行っています。



MARS FINDER 見える! サイト内検索
導入イメージ(当社ホームページ)

■ 「Goo認定車」の全国展開を開始

安心感のある中古車を提供するサービスとして、「Goo認定車」は2006年2月に静岡でスタートし、その後、2007年6月に首都圏、2008年6月に大阪・名古屋と順次エリアを拡大してきました。そして、2008年10月より、ついに全国展開が始まりました。

「Goo認定車」は、第三者機関であるNPO法人・日本自動車鑑定協会（JAAA）が中古車を鑑定し、1台1台に鑑定書を発行する画期的なサービスです。第三者が鑑定結果を付けることで、より信頼感・安心感を高めていることが特長です。鑑定に際しては、車体、内装、機関、骨格の4つの鑑定ポイントをプロの鑑定士がチェックし、それぞれの項目についてグレードを定めるため、クルマの状態が細かな部分まで一目瞭然となります。鑑定書が付いた「Goo認定車」は、ユーザーも安心して購入できることから、好評をいただいています。

「Goo認定車」の全国展開により、当社では、日本の中古車市場の健全な発展に貢献することを目指しています。



JAAAの鑑定書

■ 日立キャピタルと中古車残価据置型クレジット「グー楽」を開始

昨今、自動車の使用年数が長期化し、中古車の登録台数が減少する中、自動車の選定や支払方法などにおいても、お客様のニーズに即した商品・サービスが求められています。

このような状況の中、当社と日立キャピタル株式会社は、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」内の首都圏エリア中古車物件において、インターネットによる中古車の残価据置型クレジット「グー楽（グーラク）」の提供を開始しました。「グー楽」は、日立キャピタルが、中古車の残価据置型クレジットを用意し、月間約600万アクセスのクルマ・ポータルサイト「Goo-net」を通じて閲覧ユーザー向けに提供する商品です。「グー楽」の特徴は下記の3点です。

① 「Goo認定車」で安心

「グー楽」で提供する自動車は、第三者の鑑定機関が鑑定した、「Goo認定車」の中でも一定水準以上の車両に限っているため、安心して購入することが可能です。

② 適正な残価設定

「グー楽」は、当社が永年培ってきた中古車データを基に、自動車の車種、グレード、年式、色のほか、鑑定情報やトレンドも加味した将来価値を予測したデータを使用することで、1台毎の残存価格を設定します。

③ インターネットからの申込

「グー楽」は、「Goo-net」の中古車検索画面で購入希望車両を選んだ後、日立キャピタルの申込専用ページにて申し込みます。また「Goo-net」内の「お支払シミュレーション」を利用することで、クレジット申込前に月々の支払金額の確認もできます。



■「信頼企業」プロトデータセンターの現況と今後の戦略

■プロトグループの収益性向上に大きく貢献

株式会社プロトデータセンターは、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」やクルマ情報誌「Goo」のデータベース構築業務の内製化を進め、さらなるコストダウンを図ることを目的として、2007年4月に沖縄県宜野湾市に設立されました。

そして、2008年5月には、これまで外注化していたデータエントリー業務等を予定通り完全内製化することができ、外注コストの大幅な削減を実現しました。このことがプロトグループの収益性改善に大きく貢献しています。



プロトデータセンター社内

■今後の成長に向けて大きく飛躍

プロトデータセンターでは、当社メディアに係る業務で得られたノウハウをベースにして、当社グループ以外へのクライアントに対し、4つのサービスの提供を開始します。具体的には、①データエントリー、②デザイン、③Webソリューション、④テレマーケティングの4つの業務です。

①**データエントリー** 「正確性・スピード・大量処理・低価格」をキーワードに、簡易的な入力業務から情報誌製作・Webサイト構築のためのデータベース作成まで、トータルソリューションでサポートしています。

②**デザイン** 「正確性・スピード・ハイクオリティ・オリジナリティ」をキーワードに、情報誌・カタログ・マニュアル・パンフレットなど紙面デザイン製作を行う他、情報誌製作で培ったノウハウを活かし、紙面構成の編集やマーケティングリサーチに基づいた各種提案も行っています。

③**Webソリューション** コンテンツ製作・更新からサーバ監視まで、トータルソリューションでWebサイト運営をサポートしています。

④**テレマーケティング** 顧客データスクリーニング、データベースの再構築やマルチチャネル（E-mail、電話、Web）コンタクトセンターの運営、Webサービスのコールサポートなど、付加価値の高い様々なトータルソリューションの提供を目指し、お客様とのコンタクトをサポートしています。



新社屋（プロト宜野湾ビル）外観イメージ

■新社屋を建設

今後、プロトデータセンターが、さらなる事業拡大を目指していくためには、一定の業務運用スペースと高度なセキュリティ設備を保有する拠点が必要と判断し、宜野湾市大山に地上4階建ての「プロト宜野湾ビル」の建設を決定しました。

プロトデータセンターは、付加価値の高いサービスの提供を通じて「信頼される強い企業」を目指します。

上半期の活動報告

■ 主な事業活動 (2008年4月～9月)

- 2008年4月 株式会社マーズフラッグが新開発Ajax PDFビューワ「マーズ・ユニバーサル・ビューワ(MUV)」をリリース
株式会社ジェイベックスパートナーズが株式会社ボムルドットコムを吸収合併
「バイクに関する総合アンケート」の結果を「プロト バイクユーザー レポート 2008」として発表
- 2008年5月 「グーオク」バイク版サービス開始
モバイル広告代理事業において、株式会社フロントメディアとQTVに係る独占的販売代理契約を締結
株式会社プロトデータセンターへのデータエントリー業務等の移管が完了
- 2008年6月 株式会社プロトコーポレーションが株式会社プロトリンクを吸収合併
「Goo」シリーズの情報誌とWebサイトで「エコ」に特化したキャンペーンを開始(～7月)
- 2008年7月 株式会社イトクロとモバイル市場でのソリューション開発・販売において業務提携
- 2008年8月 中国に子会社「宝路多(上海)旧機動車經紀有限公司」設立を発表
- 2008年9月 日立キャピタル株式会社と中古車残価据置型クレジット「グー楽」を開始
クルマ情報誌「Goo中国版」発刊サイクルを月間1回から月間2回へ変更
株式会社プロトデータセンターの新社屋建設を発表
「自動車に関する総合アンケート」の結果を「Automotive Market Review 2008(AMR 2008)」として発表

■ 主なIR活動 (2008年4月～9月)

- 2008年5月 2008年3月期 決算説明会(東京)
- 2008年7月 JASDAQ Value IR Square(東京)
Nomura Asia Equity Forum2008(シンガポール)
日本証券アナリスト協会主催 一般個人向け会社説明会(東京)
- 2008年8月 「ジャパニーズインベスター」誌・宝印刷(株)共催
個人投資家のための会社説明会(東京)
- 2008年9月 東海三県ノムラ資産管理フェア2008(名古屋)



第14回ディスクロージャー優良企業選定表彰式

受賞

第14回 ディスクロージャー優良企業選定 新興市場銘柄 (日本証券アナリスト協会)

詳しくは、当社【IR情報】をご覧ください。 URL <http://www.proto-g.co.jp/IR>

■ 連結業績の概況(2008年4-9月期)

2009年3月期 第2四半期連結累計期間(2008年4-9月期)の売上高は、主要事業である自動車関連情報において、インターネット関連商品の契約社数の増加により、売上が増加したことに加え、生活関連情報においても売上拡大を果たしたことから、11,768百万円(対前年同期比3.7%増)となりました。営業利益は、子会社の株式会社プロトデータセンターへの業務移管が完了したことによる原価低減効果が大きく寄与したことと、グループ事業の再構築を進め営業費用の抑制に努めたことなどにより3,052百万円(対前年同期比60.3%増)となりました。経常利益については3,061百万円(対前年同期比58.7%増)、四半期純利益についても、1,836百万円(対前年同期比95.6%増)と大幅な増益となりました。

セグメント別の概況

■ 自動車関連情報

インターネットサイト「Goo-net」をはじめとした各メディアにおけるコンテンツ量の最大化とユーザーの利便性向上に努め、多くのユーザーから支持を獲得するとともに、中古車販売店を支援する様々な取り組みに注力した結果、取引社数の拡大を果たし、売上高は11,030百万円(対前年同期比3.2%増)となりました。営業利益については、株式会社プロトデータセンターへ

の業務移管が完了し、製作工程の内製化が進んだことと、連結グループの事業再編によって原価の抑制を図ったことなどから、3,859百万円(対前年同期比36.6%増)となりました。

■ 生活関連情報

カルチャー情報事業「VeeSCHOOL.com」、ケア関連情報事業「オアシスナビ」、「介護求人ナビ」については、取引社数が拡大傾向にあり、取引単価も上昇した結果、売上高は544百万円(対前年同期比27.9%増)となりました。営業利益については、ケア関連情報事業が黒字転換を果たしたことにより、28百万円(前年同期実績は△19百万円)となりました。

■ 不動産・その他事業

不動産は、売上高が94百万円(対前年同期比7.1%増)、営業利益が25百万円(対前年同期比32.3%減)となりました。

その他事業では、株式会社マーズフラッグのサイト内検索「MARS FINDER」の売上高は増加したものの、連結グループの事業再編に伴う外部売上高の減少により、売上高は99百万円(対前年同期比28.1%減)となりました。一方、「MARS FINDER」の拡販により株式会社マーズフラッグの営業収支が改善したため、営業利益は△59百万円(前年同期は△95百万円)となりました。



当期のポイント

Point 1

流動資産

主な増加要因は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、現金及び預金が増加したことによるものです。

Point 2

固定資産

主な増加要因は、土地・建物の取得に伴い、有形固定資産が増加したことによるものです。

Point 3

流動負債

主な増加要因は、未払費用及び未払法人税等が増加したためです。

Point 4

純資産

主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものです。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2009年3月期 第2四半期末 2008年 9月30日現在	2008年3月期末 2008年 3月31日現在
	資産の部		
流動資産 ①		13,423	12,295
固定資産 ②		7,590	6,728
有形固定資産		5,143	4,212
無形固定資産		225	262
投資その他の資産		2,221	2,253
資産合計		21,014	19,023
負債の部			
流動負債 ③		6,484	5,995
固定負債		590	593
負債合計		7,075	6,589
純資産の部			
株主資本		13,839	12,265
資本金		1,824	1,824
資本剰余金		2,011	2,011
利益剰余金		10,014	8,439
自己株式		△ 11	△ 10
評価・換算差額等		△ 5	39
少数株主持分		104	129
純資産合計 ④		13,938	12,434
負債・純資産合計		21,014	19,023

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 2009年3月期 第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	2008年3月期 第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
売上高	11,768	11,345
売上原価 ①	4,458	5,046
売上総利益	7,309	6,298
販売費及び一般管理費 ②	4,257	4,394
営業利益	3,052	1,904
営業外収益	48	42
営業外費用	38	17
経常利益	3,061	1,929
特別利益	63	90
特別損失	22	38
税金等調整前四半期純利益	3,103	1,982
法人税、住民税及び事業税	1,524	970
法人税等調整額	△ 232	70
少数株主利益または損失	△ 24	2
四半期純利益	1,836	938

当期のポイント

Point ①

売上原価

製作工程の内製化等により、外注コストの低減を図った結果、前年同期対比88.4% (売上原価率:6.6ポイント低減) となりました。

Point ②

販売費及び一般管理費

前期発生した子会社に係る費用が発生しなかったことなどにより、前年同期対比96.9% (販売管理費率:2.5ポイント低減) となりました。

Point ③

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益3,103百万円の計上や、前期末と比較して売上債権が減少し、未払費用、前受金が増加したことにより、2,692百万円の収入となりました。

Point ④

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形、無形固定資産の取得による支出が1,067百万円あったことなどにより、1,045百万円の支出となりました。

Point ⑤

財務活動によるキャッシュ・フロー

当社において前期末配当金の支払による支出が261百万円あったことなどにより、262百万円の支出となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別 2009年3月期 第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	2008年3月期 第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	2,692	1,322
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 1,045	△ 40
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△ 262	△ 174
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,354	8,703

当期のポイント

Point 1

自動車関連情報

契約社数の拡大と取引単価の増加を実現し、売上高は336百万円増加しました。加えて、製作工程の内製化が進んだ結果、営業利益も1,033百万円増加しました。

Point 2

生活関連情報

ケア関連情報事業が売上を順調に伸ばし、黒字転換しました。また、カルチャー情報事業も収益を拡大し、生活関連情報の売上高は118百万円増加し、営業利益は48百万円増加しました。

Point 3

その他事業

(株) マーズフラッグの「MARS FINDER」が取引社数を伸ばし、売上高が増加したものの、連結グループの事業再編に伴う外部売上高が減少した結果、その他事業の売上高は38百万円減少しましたが、営業損失は42百万円圧縮できました。

セグメント別実績

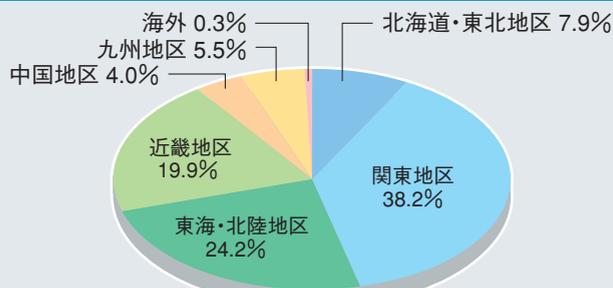
(単位：百万円)

売上高	2009年3月期 第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	2008年3月期 第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
自動車関連情報 ①	11,030	10,693
情報登録・掲載料	9,562	9,109
情報提供料	1,467	1,584
生活関連情報 ②	544	425
不動産事業	94	88
その他事業 ③	99	138
合計	11,768	11,345

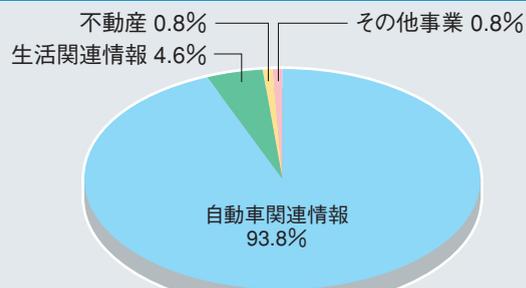
(単位：百万円)

営業利益	2009年3月期 第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	2008年3月期 第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
自動車関連情報 ①	3,859	2,825
生活関連情報 ②	28	△ 19
不動産事業	25	37
その他事業 ③	△ 59	△ 95
管理部門	△ 802	△ 844
合計	3,052	1,904

地域別売上構成比



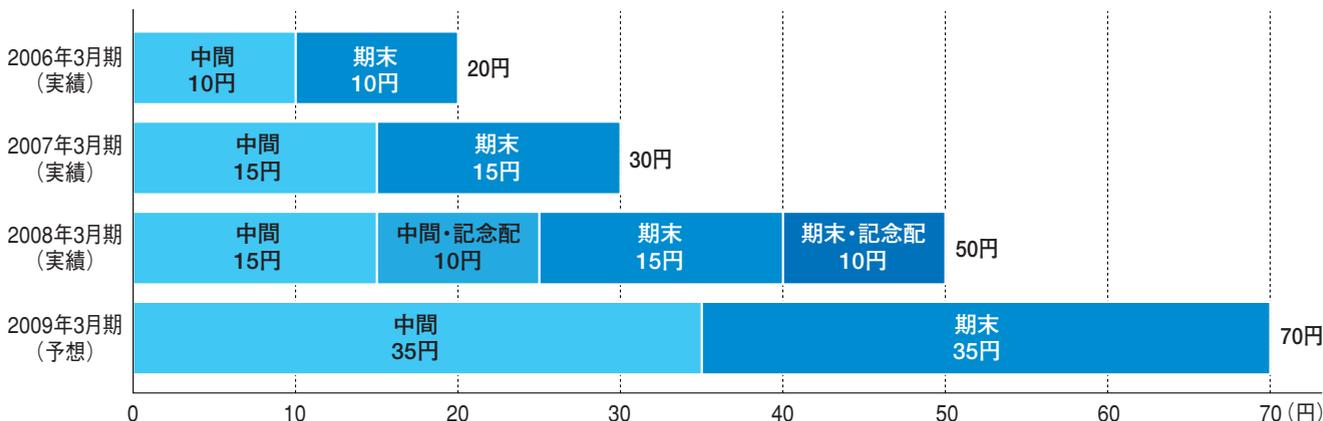
セグメント別売上構成比



1株当たり年間配当額

当社では、株主の皆様に対する利益還元重視の姿勢をより明確にするため、当期の1株当たり年間配当額の予想を増額しました。中間・期末それぞれ1株当たり35円とし、年間で70円を予定しています。これにより、当社は3期連続増配予定となります。

今後も、当社は、継続的かつ安定的な配当に留意するとともに、将来の成長に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案した上で利益還元を努めていきます。



株主優待

100株以上ご所有の株主様に、所有株式数に応じて、年2回全国百貨店共通商品券・図書カードを進呈。(3月末・9月末の株主様に進呈)

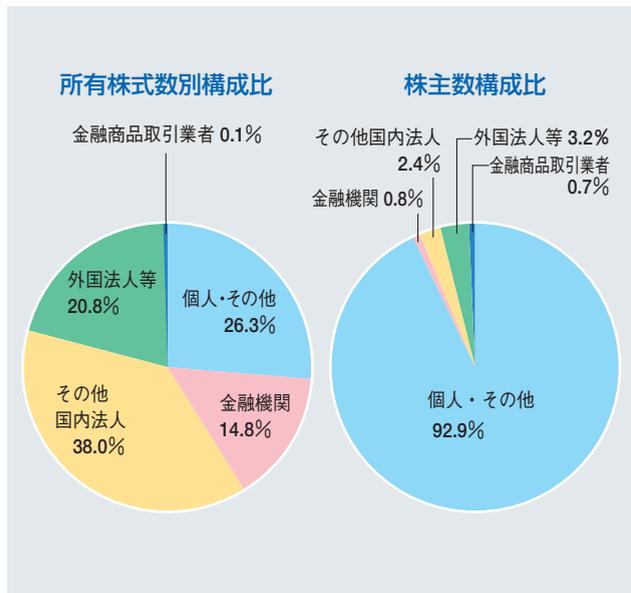


- 所有株式数100株以上の株主様 ▶ 500円分の図書カードを進呈
- 所有株式数500株以上の株主様 ▶ 1,000円分の商品券を進呈
- 所有株式数1,000株以上の株主様 ▶ 2,000円分の商品券を進呈
- 所有株式数3,000株以上の株主様 ▶ 3,000円分の商品券を進呈
- 所有株式数5,000株以上の株主様 ▶ 5,000円分の商品券を進呈
- 所有株式数10,000株以上の株主様 ▶ 10,000円分の商品券を進呈

株式の状況

株式の状況 (2008年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 30,900,000株
- 発行済株式の総数 10,470,000株
- 株主数 1,483名
- 株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
① 株式会社夢現	3,330	31.81
② 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	891	8.51
③ 横山博一	822	7.85
④ 横山順弘	486	4.64
⑤ ジェーピーエムシービーオムニバスユーエス ベンシヨントリーティージャスデック380052	396	3.78
⑥ ジェーピーモルガンチェースバンク385065	279	2.66
⑦ シービーホンコンゴジェントハンターホール ジェエルエシック	223	2.13
⑧ 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	193	1.85
⑨ 齊藤実	168	1.61
⑩ メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツ クライアントメロンオムニバスユーエスベンシヨ	159	1.52

(注) 上記出資比率は、自己株式(9,145株)を含めて計算しています。

単元未満株式の買取・買増請求制度について

当社株式のうち、単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、単元未満株式の買い取り(当社に対する売却)や、単元未満株式数と併せて1単元(100株)となる株式数の買い増し(当社からの売り渡し)を当社に請求することができます。株券保管振替制度をご利用の株式についてのお手続きの詳細は、株券を預託されている証券会社等にお問い合わせください。

なお、同一日になされた買増請求の合計株式数が、当社が買増請求のために保有する自己株式数を超えている場合、買増請求のお取扱いができませんので、予めご了承ください。

また、買取・買増請求をされた後の、取り消しは認められませんのでご注意ください。

■ 会社概要 (2008年9月30日現在)

商 号：株式会社プロトコーポレーション

(英文名)：PROTO CORPORATION

本 社：名古屋市中区葵一丁目23番14号
東京都文京区本郷二丁目22番2号

設 立：1979年6月1日

資 本 金：18億2千4百万円

従業員数：590名(連結：692名)

支 社：札幌、仙台、北関東、東京、浜松、名古屋、大阪、広島、福岡、熊本

営 業 所：全国35拠点

■ 役員 (2008年9月30日現在)

代表取締役会長：横山 博一

代表取締役社長：入川 達三

取締役副社長：齊藤 実

常務取締役：横山 宗久

常務取締役：飯村 富士雄

常務取締役：沖村 敦矢

取 締 役：倉元 進

取 締 役：宗平 光弘

取 締 役：白木 享

取 締 役：清水 茂代司

取 締 役：神谷 健司

常 勤 監 査 役：水野 健一

監 査 役：塩見 涉

監 査 役：有馬 義雄

■ 連結子会社 (2008年9月30日現在)

株式会社リペアテック

自動車修理業界向け情報誌の発行、事故車修理見積支援ソフトの開発・販売

株式会社マーズフラッグ

見える!検索エンジン「MARS FLAG」、見える!サイト内検索「MARS FINDER」の開発・運営等

株式会社プロトデータセンター

データベース構築等の情報処理サービス

宝路多(上海)広告有限公司

中国自動車市場における情報提供サービス

株式会社ジェイペックスパートナーズ

ソフトウェアの開発・生産・流通、同事業を営む会社への投資事業等
ソフトウェアダウンロードサイト「BOMUL.com」の運営

■ 当社IRサイトのご案内

【IR情報】URL <http://www.proto-g.co.jp/IR/>

ニュースリリースや決算説明会のプレゼンテーション資料、株主情報など様々な情報を掲載しています。

また、IRメール配信登録も受付中です。

ご利用中の携帯電話からもIR情報をご覧いただけます。



株主メモ

- 事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会：毎年6月
- 期末配当金受領株主確定日：3月31日
- 中間配当金受領株主確定日：9月30日
- 単元株式数：100株
- 上場取引所：ジャスダック
- 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先（お問合せ先）：〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)232-711
- 同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。
なお、未受領の配当金のお支払につきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
- 公告の方法：電子公告
下記の当社ホームページにて行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない時は、日本経済新聞に掲載いたします。
当社ホームページ URL <http://www.proto-g.co.jp/IR/library.html>

▲ 株券電子化について

株券の電子化は、2009年1月に実施される予定です。株券電子化が実施されると、お手持ちの株券が無効となります。株券がご本人以外の名義となっている場合、株主としての権利を失う可能性がありますので、早急に名義書換をお済ませ下さい。詳細につきましては、下記へお問合せ下さい。

■ 照会先：日本証券業協会 証券決済制度改革推進センター TEL:03-3667-4500 URL:<http://www.kessaicenter.com>